

例会日：毎週木曜日 18時30分 例会場：関観光ホテル 住所：岐阜県関市池尻 91-2  
事務局：岐阜県関市下有知 1655-1 山田ビル 1階D室 TEL (0575) 24-7332 FAX (0575) 23-5278  
会長 川村紳一 副会長 西田健一 幹事 石原妙生 クラブ会報委員長 大藪太

2020～2021年度 関中央ロータリークラブ会長テーマ

「一人ひとりが輝く」

～会員同士の絆を大切に～



ロータリーは機会の扉を開く

4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 新型コロナウイルス感染症対応原稿例会  
第2037回例会 2021年5月6日(木) 担当 会場監督  
原稿卓話 国際ロータリー第2630地区 奉仕プロジェクト部門・  
国際奉仕委員会 委員長 勝川 生年 様  
テーマ 「コロナ禍の国際奉仕について」

前例会の記録 第2036回 2021年4月22日(木)

C. A 地区研修・協議会報告

担 当 次期会長・幹事

\*ロータリーソング「我等の生業」斉唱

\*会長あいさつ 川村 紳一 会長

皆さん今晚は、本日のクラブアッセンブリーは、地区研修・協議会報告です。4月18日にズームによるオンラインでの開催でした。協議会の

内容は、森会員、後藤会員、波多野好文会員の3人が後ほど詳しく発表して頂けると思います。私は午前中の分科会資料の中で、会員基盤強化分科会のDVDを視聴しました。会員基盤強化分科会は3部構成になっていて、1部は会員増強委員会 中村薫委員長によるロータリーの現状説明があり、2630地区の会員数は、2021年2月末現在3,116名であり、前年度より143名の減少です。例年の年度末を考えま



すと 3,000名死守が大変厳しい状態となっております。各クラブの委員会計画では

- 1、純増何人かを明確にする
- 2、現会員の維持  
(懇親・親睦・同好会・教育研修・退会防止)
- 3、会員を増やす方法  
(情報収集・自己環境調査・リスト作成・行動開始)
- 4、会長・幹事はクラブの増強のトップ  
(委員会、委員も常に増強を意識する)

入会のメリットと必要性では、会員になることのメリット・なぜ会員増強は必要か中身を考える。

2021～2022年 会員増強委員会計画「コロナ禍に応じた増強活動を行う」クラブに対しての目標(会長が先頭になって動く、計画して行動する)地区委員会の目標(クラブへのフォロー、会員維持を徹底、純増1名以上達成)、2部は多様性推進小委員会 川原直美委員長が2021年度 委員会目標

- 1、女性や若者20名の増強

2、地区女性会議を開催する

3、卓話依頼をお受けする

の3項目を掲げられました。特に女性の比率が2630地区では6%、世界平均では24%と1/4が女性ということです。また、74クラブ中21クラブが、女性会員がいません。21年度は21クラブの女性や若者の増強に力を入れるとの事です。我がクラブも21クラブに入っています。3部の衛星クラブ設立に向けては、割愛させていただきます。

私が興味を持ったのは、各クラブの会員増強委員長4名の取り組みの発表です。その中で、四日市西RCの佐々木薫子さんの取り組みが実に面白く、こんな方法で会員増強が出来るんだと思いました。現在、50数名の会員が、ゴルフ同好会、ダイビング同好会、ワイン同好会、日本文化愛好会の4同好会のいずれかに全員加入しているそうです。その同好会活動で好意と友情を深め、親睦を深めながら活動しているそうです。この同好会の活動は、毎月1回メーカーアップに認められているようで、敷居を低くして気楽に入会して頂く方法もあるのかなと思った次第です。いずれにしましても、関中央RCに合った会員増強が出来るよう皆さんと一緒に頑張りたいと思います。

#### \*C. A 地区研修・協議会報告 森 敬会員

4月18日(日)オンラインにて開催。午後1時 ガバナーエレクト 伊勢中央RC 浦田幸様、点鐘 国歌・ロータリーソング斉唱 いつもながら国歌を歌うと気が引き締まります。歓迎の言葉をホストクラブ会長 伊勢中央RC濱千代様が話されました。次にガバナーエレクト浦田様より挨拶と特別出席者紹介がありました。今回初めてZoomによるオンライン開催となりましたが、1,100名という大勢の参加だったそうです。またRI シェカール・メータ会長エレクトからもリモート開催の指示があったそうです。

次に、次期地区代表幹事 伊勢中央RC 玉木様より次期ガバナー補佐・地区委員長紹介がありました。それから、ガバナー 劔田様の挨拶がありました。最近、ガバナーの顔を見たことがないと言われ



るようになりましたが、「元気でやっとなります。よく見ておいて下さい。」なんて冗談を言っておられました。また、「本日、3大セミナーの最後を締めくくる次年度につなぐ地区研修・協議会であり、盛大に行われることを心よりお喜び申し上げます」とのことでした。また、新型コロナウイルスが我々の生活のあらゆるところに影響を及ぼしておりますが、オンラインなどを活用しながらロータリーの活動に参加してほしいとのことでした。オンラインの活用で交通費、移動時間の削減、低コストで運営できる、資料の準備が容易に出来る、意思決定のスピードが上がるなどの利点があるとのことでした。RI会長もデジタル化に完全対応した団体にならなくてはいけないと言っておられますが、劔田ガバナーはデジタル化がプロセスを省くので、リアルとデジタルとのハイブリット化をお勧めするそうです。ネットに頼らず、実際に見学、対話、体験が大切で「富士山を登らずして富士山は語れない」と例えておられました。それから当地区の会員動向ですが、3月末3,111名で10%増となっているそうです。日本全体の会員数は3.1%減だそうです。

またこの辺りから少し難しい話でしたがRIの現況について話されました。国際ロータリーは変質したようで、活動の主体が個人から団体へ、ついにRI全体に移行したそうです。個人の職業奉仕から国際奉仕へ移行したとのことでした。RIの会員減少が深刻で、特に米国の減少が激しく崩壊寸前のクラブもあるようです。逆に女性会員率において米国は33%と先進国ではダントツに高いそうです。RIは会員増強と資金集めが喫緊の課題となり、中央集権化し、ロータリーから基本理念が失われ安易なボランティア団体に移行してしまわないか懸念しているそうです。ロータリアンがお互いに切磋琢磨し、自己研鑽によって心を磨き、倫理的な人を育てる所であるという本質を忘れず、自分のクラブが地域社会でどうあるべきか、クラブの活性化をどう目指すのか考えていく事が極めて大切とのことでした。まだまだロータリー歴の浅い私には大変難しいお話でした。

次にガバナーノミニー 岐阜RC 高橋様の挨拶

がありました。3月から例会をやっているが、コロナの蔓延を心配していますとのことでした。国際ロータリーは2019年に「多様性、公平性、解放性」の方針を採択しました。その具現化の一つとして、ロータリー誕生117年目にして、初めてジェニファーE・ジョーンズさんという女性のRI会長が誕生します。彼女の方針は「多様性と平等性」を広げていき、誰でも参加しやすい開かれた組織を作りたいそうです。

現在の女性会員の比率は全体で24%、日本は世界最低の7%となっているそうです。我が関中央RCにおいては0%ですので、少し考えさせられます。国際ロータリーは、女性会員率を2023年6月までに30%にしたい方針だそうですが、ただでさえ会員増強が難しい現況の中、女性会員を増やすのは容易な事ではないと私は思いました。

それから2022年の規定審議会においてロータリーに大きく変革をもたらすような議案が提出され審議されるようです。それは、地区ガバナー制度を廃止して新しい国際ロータリーの枠組みを作るというものだそうです。理由は世界200か国に3万6千くらいのクラブがあり、RI一つのルールでは統治できないので、地域に分かれた特性を持った運用をしていこうというものだそうです。可決されれば、2030年からの適応だそうです。

**第1セッション** 次期RIテーマと地区活動方針  
ガバナーエレクト 浦田様  
最初に国際ロータリー次年度会長方針ということで、シェカール・メータ会長エレクトのビデオを見ました。ビデオの中では、やはり会員増強が一番強く言われていたと思います。そして女性会員の入会の勧め。それから会員維持です。いくら新会員を増やしても退会者がいたら何にもならないですから。浦田様は、国際協議会で直接メータ会長エレクトに尋ねたそうです。「会員維持について良い方法はないか？」そしたらメータ会長エレクトは「会員維持については日本が最も安定している。日本が手本だ。」と答えられたそうです。嬉しい言葉だと思いました。

そして浦田様の地区活動方針です。それは「つねに超我の奉仕を胸に」です。メータ会長エレクトも

ロータリー標語の「超我の奉仕」を説かれています。浦田様は少し考えが違うそうです。日本らしい、日本人らしいという思いがあり、本当の思いは「日本らしい超我の奉仕を胸に」だそうです。日本人の振る舞いや気遣いは他国にないものだと私も思います。そして浦田様は「私達、日本のロータリーは、その精神と活動の在り方において間違っていない」と考えておられるそうです。

### 閉会セッション

次期開催地ホストクラブ発表 ガバナー 劔田様  
次期開催地ホストクラブ会長挨拶

岐阜RC会長エレクト 石井様  
コロナ禍の中、地区研修・協議会が盛大に行われた事の御礼と次期開催地の案内がありました。次期地区研修・協議会は、2022年4月16日(土)長良川国際会議場にて行われるそうです。今回はコロナが終息し皆でリアルに参加し盛大に行われたら良いなと思います。我が関中央RCも全員で参加できたら良いなと思います。

**総評** 次期地区研修リーダー 辻様

「今回はオンラインでの地区研修・協議会でしたが、前は資料のみでの研修でした。あれから1年、まだまだコロナは収まらない。いや、更に拡大しているのではないか。」と言われ、世界の一部でワクチン接種が始まり、日本でも始まったが人口のわずか1%程度だそうです。そして、このワクチンの確保を巡って争いが起きています。「人間として醜い、人間としての尊厳も落ちたものではないか」と言われました。そして「RIのテーマ、浦田ガバナーエレクトの話された地区活動方針を実現するために動き出し2021年の日本のロータリーを作りましょう」とのことでした。

**閉会挨拶** 次期地区代表幹事 玉木様

「DVDにすることで全ての分科会を受講することが出来ます。是非活用して下さい。」とのことでしたので、各委員長はもちろん希望者は事務局に行ってDVDを拝聴されたら良いかと思います。

### 戦略計画分科会

事前に送られてきたDVDを見ましたが、次期地区

研修リーダー 辻正敏様のお話でした。協議会で浦田ガバナーエレクトが話された事の補足的なことでした。資料の表紙にガバナーエレクトの「浦田幸一は情熱（あつ）い」と書かれていましたが、「熱いです。燃えています。」との事です。しかし、話を聞いて浦田さんは熱い人と分かりましたが、辻さんも十分以上に熱い人だと思いました。

R I 会長エレクト シェカール・メータ氏の 2021～2022 年テーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」をふまえて、ガバナーエレクトの浦田様は「つねに超私の奉仕を胸に」を私達 2630 地区のテーマとされました。そこに至る浦田さんは「先義後利」という考え方を示しました。他者を優先し、自分の利益を後にするものです。

最重要目標として

1. 会員維持増強とクラブの基盤強化
2. 職業奉仕の理念と日本のロータリー文化の維持
3. ロータリー財団活動支援のための寄付奨励
4. 公益財団法人 米山記念奨学会支援

を掲げられていますが、辻次期地区研修リーダーは、1と2で十分ではないかと思うとのことです。更に4つの優先事項があります。

#### 優先事項 1「より大きなインパクトをもたらす」

具体的には、ポリオ根絶、ロータリーの役割を強調するなどありますが、辻さんはインパクトとは衝撃、影響、影響力を与えるもの。それらをゴルフで例え、インパクトを説明されました。適切な力で正しい角度、正しい方向でクラブとボールが衝突しないと飛んで行かないとのこと。それには練習が必要である。

#### 優先事項 2「参加者の基盤を広げる」

ここでいう基盤とは、フィールド、分野、領域などで、私たちはたくさんの人達に見てもらい話し、仲間を増やしましょう

#### 優先事項 3「参加者の積極的な関わりを促す」

奉仕に参加する人も、自分の存在、声が聞き入れられていると感じる必要がある。例えばアーティストがコンサートを行い、観客と一体となり盛り上がったとしたら、次回もきっと盛り上がることでしょう。それはアーティストと観客がお互いを認め合っているからです。

#### 優先事項 4「適応力を高める」

どの様な変更にも対応するという意味であり、俳優で例えたら、若きアクションスターが映画ドラマの主演になり、ある時は時代劇の侍など様々な役柄をこなしてきました。ロータリーではあの人があの役は大丈夫だろうか？などと言われたが、こなしてきて、次なる挑戦できる力をつけた。このようにロータリーはとても親切である。優先事項など手取り足取り教えてくれます。しかし、優先事項は世界共通です。これで満足してはいけません。浦田さんはこう言っています。「私達、日本のロータリーは、その精神と活動の在り方において間違っていない！！」これが私達の戦略計画です。DVD1 枚目は、全て視聴しましたので印象に残ったところを報告します。

#### 会員基盤強化分科会

四日市西 RC 次期会員増強委員長 佐々木薫子様  
四日市西 RC では、ゴルフ、ダイビング、ワイン、日本文化愛好会の4つの同好会があり、全ての会員がいずれかに入って活動しているそうです。因みに彼女は4つ全てに入っているそうです。ゴルフは月に1度、ダイビングは石垣島やサイパンに行ったこともあり、サンゴの植樹をしたこともあるそうです。ワインは本格的でソムリエの方おられたり、日本文化は歌舞伎を見に行き、歌舞伎役者と食事をしたこともあるそうです。毎週1回のロータリーの例会出席が出来ない人には同好会をメイクアップとして参加を促しているそうです。また10年前からファイヤーサイドミーティングをやっているけど、新入会員には入会前に参加してもらっているそうです。それにより6名の新入会員が増えたそうです。

各務原 RC 会員増強委員長 山田昭仁様

各務原 RC は全 74 クラブで平均年齢が一番若く 53.5 歳だそうです。因みに我が関中央 RC は 65.2 歳です。山田さんは自分が会長の時にロータリーで若い世代に合わないものを見直し、反対もあったが会費を下げ、下げた会費の中で活動されたそうです。若ければ良いというものではありませんが、若い世代に入会を勧めるにあたっての参考になるのではないかと思います。

## 後藤 政之会員

はじめに公共イメージ公共委員会 次期委員長 近藤浩史さんの挨拶で始まり、昨年のPRマスクの紹介がありました。2020年7月に釧田ガバナーの発案で、公共イメージ委員会が企画、作成。10万枚のマスクを1袋に10枚とロータリーのPRパンフレットを封入、この作業は障がい者就労支援 NPO法人ノックス岐阜にて1万セット作成され、10月に希望のあった地区のクラブへ送付されました。

続いて My Rotary についてのお話でした。全国のロータリアンと交流ができるWEBサイトとしてありますが、第2630地区では、登録者数が地区会員数の23%ということです。クラブの目標は60%なので是非皆さん登録してくださいとのことでした。

次に You Tube・SNSの活用についてということで、ここから多治見西ロータリークラブの森田委員のお話でした。ロータリークラブの情報や活動をホームページや You Tube・SNSを積極的に使って外部に発信し、知ってもらうことで新会員の勧誘につなげていきたいと思いますということでした。ホームページについては、第2630地区の74クラブ中、54クラブが活用しているということでした。

You Tube・SNSについては、ある統計で10代から60代の利用割合をみると、TwitterとInstagramは若年層は圧倒的に利用割合が多く、年代が上がるにつれて下がっていきませんが、You TubeとFaceBookはどの年代もほぼ同じ割合で、この二つを活用すると良いのではないかということでした。この地区のFaceBookを活用しているクラブは、74クラブ中、23クラブで3割ほどでした。

最後に、多治見西ロータリークラブの You Tubeを自ら作成、配信してみえる森田委員から You Tube作成の簡単なアドバイスがありました。

私としましては、YouTubeの作成はハードルが高いので、FaceBookの方が、もう少し気軽に情報発信できるのではないかと思います。



## 波多野 好文会員

私は次年度、国際奉仕委員長ということで奉仕プロジェクト部門のDVDについて報告したいと思います。最初に、奉仕プロジェクト部門の篠原委員長が登場して委員の紹介がありました。担当カウンセラーは加賀修パストガバナーで、社会奉仕委員会の委員長は、美濃加茂RCの石原公司さんでした。社会奉仕は地域社会に軸足をという事で、2021-22年度の行動計画が発表されました。

- ①2021年度は浦田ガバナーエレクト実施の調査に基づく各RCの奉仕活動リストの分析・補填。来年3月末までに入手予定。我々、委員会が2021年度から委員会として調査・配布実施。
- ②2020.7~2021.6実施の奉仕プロジェクト詳細データの収集。財団と共に各クラブの完了プロジェクト事業を地区のHPにアップする支援。これで本年度補助金USBを完成し、各クラブに配布する。
- ③環境関連アンケートの継続実施  
(植樹・乗用車種調査)
- ④卓話は積極的に受け入れて、奉仕プロジェクトの実践をPRする。

以上が、行動計画です。その後、2019年実施の地区補助金プロジェクトの発表があり、25のプロジェクトが実施されるようです。その中16番目の関中央RCの地域社会発展 将来を担う子供たちに里山整備を通じ、自然環境の維持や自給自足の大切さを学んでもらう事業もあり、この中の10のプロジェクトは数字が赤字で、地区HPにアップしてあるそうです。また、その中の中津川RCによる健やかな成長を願う「子供の夢」支援事業。トップアスリートと関わることで未来を担う子供たちの夢を膨らませ実現に近づける事業と松阪山桜RCによるミャンマーにおける移動図書館の支援事業の報告がありました。

次に国際奉仕の勝川生年委員長が登場して委員の紹介がありました。勝川委員長は、5月6日の卓話者として「コロナ禍の国際奉仕について」というテーマで卓話を頂くことになっています。国際奉仕委



員会の目標としては「海外で助けを待つ人々に奉仕というかたちの愛を未来のために伝えられるよう支援します」という目標で進めていくそうです。その後、WCS（世界社会奉仕補助金）の説明があり、主な事業として、フィリピン国 ヘルシースタイルコロナ対策フェイスシールド贈呈事業(岐阜中RC)、コートジボワールの子供達への靴・文房具等贈呈事業(岐阜西RC)、インドネシアバリ島への水環境支援事業(志摩RC)以上3つのプロジェクトが行われたようです。こちらは承認されれば使用した金額の半額が出るようです。

次にグローバル補助金事業でのプロジェクトの説明があり、5年続く事業として

#### **第2630地区と第3350地区とのグローバル補助金事業** 基本的教育と識字率向上プロジェクト

タイ国の地方の学校10校に識字図書等の教材支援事業及び指導する教員指導プログラム事業  
共同プロジェクト事業(名張中央RC、美濃加茂RC、熊野RC、尾鷲RC、多治見西RC)  
昨年12月に終了。すべての資金は500万円の事業だったようです。

#### **第2630地区と第3330地区とのグローバル補助金事業** 母子の健康プロジェクト

タイ国 sampran 病院への最新の医療機器備品設備及び医療従事者及び母親教室への研修指導プログラム事業  
共同プロジェクト事業(多治見リバーサイドRC、Sanam-ChanRC)プロジェクト(総予算750万)の紹介がありました。

#### **\*出席委員会**

会員数31名、本日の出席16名です。

#### **\*ニコボックス委員会**

・会長・幹事

本日は、地区研修・協議会の報告、3名の方、御苦勞様ですが、よろしくお願ひします。

16名のご投函ありがとうございました。

#### **\*委員会報告**

##### **社会奉仕委員会**

今年もひとり親家庭支援として配布するお米を作成

する予定です。その準備として、5月8日(土)午前9時からあぜの草刈りと代かきを行いたいと思いますので、ご参加をお願いします。

#### **\*幹事報告**

・2021年バーチャル国際大会についてオンライン登録のご案内が届きました。参加をご希望される会員の方は事務局までお問合せ下さい。

#### **<次例会の案内>**

第2038回 2021年5月13日(木)

卓話 (有)虎屋 代表取締役

関市PTA連合会 会長 古田 敦資様

テーマ 『2020東京オリンピック聖火リレー

大垣を走り終えて』

担当 インターアクト委員会